



桜並木学園
つくば市立並木小学校だより

未来へ



NO. 36
令和3年1月8日(金)

新しい年の光が差し込んできました。 本年もよろしく願っています。

子供たちが元気に登校してきました。学校に生気が満ちてくる気がします。冬休みを過ごした子供たちは、一回り体が大きくなったような気がします。冬休みの間に大きな事件・事故がなく過ごせたことは、ご家庭のおかげです。ありがとうございました。

今年は、1年待ったオリンピックイヤーです。この大きなイベントは、感受性豊かな子供たちの心に何かを残してくれることでしょう。今年こそ、ぜひ開催したいものです。

オリンピック・パラリンピックの開催に向けてというばかりではありませんが、これからは、「新しい生活様式」と言われる毎日を当たり前のこととして受け止め実践していくことになります。これも含めて、子供たちが、これから学んでいくこと、身に付けていくことがこれからの時代を創っていくことになるのです。既成の考え方にとらわれずに、多くの経験を積んで試行錯誤していくことで子供たちの心と体が大きく成長してくれることを願っています。



成人の日に ～今年は11日(月)～

毎年、成人の日の新聞に酒造メーカーの広告が載ります。以前は作家の山口瞳氏が、現在は伊集院静氏が新成人に向けてメッセージを寄せています。私の成人の日には、山口瞳氏がこんな歌を紹介していました。「屑煙草(くずたばこ) 集め喫(す) へれど志す高き彼物(かのもの) 忘らふべしや」吉野秀雄。～どんな失意の時に志を高く持ちたい～というような内容だったと覚えています。二十歳(はたち)の自分は「自分にとっての『高き彼物』とはなんだろう。」と悩んで?いました。

成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」は、2022年4月1日から施行されます。となると、6年生が成人式を迎えるのは、2027年1月になります。(6年後に大人!? 20歳でも悩んだのに18歳で大人になる!?)

人生100年といわれるこの時代、この子供たちが大人になったとき、社会に出たとき、どんな力を身に付けているべきかを考えることが必要とされています。「10年後はどんな世の中になっているのか予測できない。が、予測できない社会になっていることだけは予測できる。」という笑い話のような話があるほどです。

並木小の子たちが小学校を卒業するとき、義務教育である中学校を卒業する時、どんな姿で、どんなことができるようになっていくのか、学校では10年後・20年後の社会を考えながら指導していくことが大切です。そのために、子供自身が、問いを持ち、目標を持ち、自分で考え、判断し、実行する。また、人と関わりながら、折り合いを付け、問題を解決し、やり遂げられる喜びを感じられる。こんな学校生活、授業を進めていきたいと考えています。

今年、お子様が成人式をお迎えになるご家庭もおありでしょう。
「お子様のご成人、まことにめでたうございます。」



「朝から子供たちの元気な声が聞けて、清々しい気持ちになりました。」 12月の朝のあいさつ運動～2・4年生の保護者の皆さんの声

- 自分から大きな声であいさつをしてくれた子がいたので印象に残りました。
 - 頭を下げて丁寧にあいさつしてくれる子が多かったです。
 - 手をポケットに入れている子が何人かいたので、先生方から手袋をしてくるようにクラスで声かけをしていただくと助かります。 →次の日、早速お話ししました。
 - 寒くて体を丸めがちになりながらも元気にあいさつしてくれうれしかったです。
 - 一段と寒くなりましたが元気にあいさつしてくれました。
- まさに一段と冷え込んだ今朝も、あいさつ運動に来てくださった保護者の方がいらっしゃいます。本当にありがとうございます。嬉しいです。